



県立宮之城高等技術専門校

- 訓練期間 2年間
- 校訓 「礼儀」「錬磨」「創造」
- 学科
 - ・室内造形科 [定員20人]
 - ・建築工学科 [定員20人]



学校の特徴

本校は創立71年目を迎える職業能力開発校で、職業能力開発促進法に基づき県が設置している。その目的は新たに就職しようとする人などに必要な知識と技能を習得する機会を提供し、就職を支援し、もって職業の安定と生活の向上を図り、地域経済および社会の発展に寄与することにある。

設置学科では、主に木材を使って多くの家具製品や工芸品を製作したり、木造家屋等を建築したりと実践的な職業訓練を行っている。

また、技能五輪全国大会の家具と建築大工の部門に県代表選手を毎年送り出しており、金メダルをはじめとした多くのメダル受賞者を輩出している。

今月は宮之城高等技術専門校の4人です

輝け若人

世の中にはたくさん
の仕事が存在するが、
一番かっこいいと思う
職業は「大工」だ。幼
いころから大工である
父に憧れ、自分の背丈
よりもはるかに大きい
ものを組み上げる背中
を見てきた。高校卒業
後は、迷わず父の母校
である宮之城高等技術
専門校に入校し、職人
への一歩を踏み出した。



腕利きの大工一家に

座学では建築のイロ
ハを、実習ではかんな
のみの研ぎをはじめ、
継手や小屋組みの墨付
など、先人の技術には
驚くばかり。吟味した
木材を適材適所に使い、
家づくりが多様化し
た現代で、住み手のさ
まざまな要求に応えら
れるのが、「令和の大
工」だと思ふ。プレ
カットなどが主流も、
格式高い和風住宅や無
垢の木材を使った住宅
では、今も職人の腕が
頼りだ。伝統の技と知
恵を受け継ぎつつ、新
時代の技術に対応でき
る凄腕職人を目指して
いく。

宮之城高等技術専門校 建築工学科 2年

宮園 庸寛 さん

け・手刻み加工等を習
得するため、仲間と切
磋琢磨しながら、毎日
懸命に取り組んできた。
役割に応じた継ぎ手や
仕口を、手間・苦勞を
惜しまず作り上げてい
く工程に、熱い想いを
感じる。

今春、弟が同校へ入
校した。ともに寮生活
を送り、訓練に励んで
いるが、兄として負け
られない。来春は、先
に大工としてスタート
ラインに立つ。不安と
期待でいっぱいだが、
学んだことを糧に試練
を乗り越え、父のよう
な立派な大工になっ
てみる。そして、将来
は鹿児島の家づくりを
担う腕利きの大工一家
になりたい。

川薩電気協組

技能競技県大会

小辻・鶴屋さん

九州大会に向け強化トレ



課題に取り組む県大会出場者＝薩摩川内市の組合事務所

大会には県内各地区から出場し、150分の時間内で配線図に基づき、安全で正確な施工を競い合う。川薩地区からは小辻祐輔さん(福重電気)と鶴屋洋さん(鶴屋電気)が挑戦する。

大会には県内各地区から出場し、150分の時間内で配線図に基づき、安全で正確な施工を競い合う。川薩地区からは小辻祐輔さん(福重電気)と鶴屋洋さん(鶴屋電気)が挑戦する。

湯田技術部長は「正確で安全な作業技術を身に付け、今後の工事に生かせるようにしてほしい」と激励の言葉を寄せた。

県大会は10月5日、鹿児島市のポリテクセンタ―鹿児島で行

喜界町企業説明会参加

峰山建設

建設業の魅力アピール



説明会には町内14企業が参加。建設業として唯一参加した峰山建設(峰山奥恵喜社長)は、土木・建築等の業務内容を中心に地域貢献活動や安全活動、国内外研修、必要な資格などを説明した。高校生からは「工事施工中の問題点や危険箇所は「構造物や機械、設備の金額は」などの質問が出されたほ

か、就業規則や就業時間に関する問いもあった。峰山社長は「喜界島は一周約60kmの小さな島で、災害時の際に自衛隊の役割を担っているのが建設業。インフラ整備とともに島を守る誇りをアピールすることで若手を呼び込み、地域に愛される企業として成長していきたい」と述べた。

高卒予定者の県内求人(7月末)は、前年同月比12人減、1など。全体の求人数は5536人(前年比同)で、求職者数は4138人(同48人減)。求人倍率は1.34倍(同0.02ポイント増)となり、平成以降で最高値を記録した。学校から企業に対する生徒の応募書類の提出開始日は5日。採用内定は16日から始まる。同局では「一人でも多くの生徒が希望通りに就職できるよう、連携しながら支援していく」としている。

喜界町主催の合同企業説明会がこのほど、同町の喜界高校であった。写真。町における産業への理解を深め、町内企業への就業促進および就職

を後押ししようと初めて開催したもの。参加した同校1、2年生69人(男子43人、女子26人)は各企業ブースを

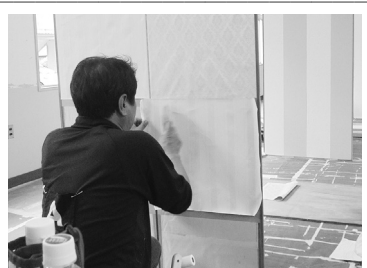
練習では、指導員が塩ビ管の加工法や電線管曲げの手順などを指導。課題完成後の検査で、見栄えなどをチェックした。

鹿兒島労働局は、来年3月に卒業を予定している高校生の県内産業別求人受取状況(7月末現在)をまとめた。建設業は、前年同月比6%(49人)増の854人となった。

鹿兒島労働局は、来年3月に卒業を予定している高校生の県内産業別求人受取状況(7月末現在)をまとめた。建設業は、前年同月比6%(49人)増の854人となった。

技能検定試験

ある壁張り下地に布壁紙、ビニル壁紙、紙壁紙を張るといふもの。1級は4時間、2級は3時間30分



壁装(表装)

壁装(表装)の2019年度前期技能検定が、鹿児島市の鹿児島高等技術専門校で行われた。写真。1級13人、2級8人の日々、磨き続けてきた技が光った。

畳製作

畳製作の2019年度前期技能検定が、鹿児島市の鹿児島高等技術専門



校で実施された「写真」。1級6人、2級1人が受検し、卓越した技で課題に挑んだ。同日は、1級が手縫いによるへり付き板入れ畳を製作。2級は、へり付き素がまじ畳を作り上げ、それぞれごさの製作・取付や薄べりの作成などまで行った。受検者らは、日々磨き上げた腕で奮闘。なお、審査は県畳工業組合(大江孝之理事長)の検定員が務めた。